

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	吾妻公民館施設提供事業	所管	教育委員会教育総務部 吾妻公民館
			TEL 2924-0118

事業の目的 (何の為に 行うか)	集団により各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	87,201	人

活動の内容 (何を したか)	施設の利用申請にあたっては、従来からの窓口申請以外にも、平成11年度からは、公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末機・インターネットによる利用予約手続きが可能となっており、また、平成18年10月から新システム導入している。利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため一定の利用制限(時間制限)を設けている。							
	活動実績	項目名	年間利用可能区分数(公民館)	35216 単位 回	項目名	年間利用区分数(公民館)	19482 単位 回	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	32,114	31,759	38,335	113.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	80 単位	55.3 単位	69.1 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了			
予算	現状どおり 増額 減額 終了					

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード	担当	部課コード	120705	16	2924-0118
120708	吾妻公民館施設提供事業	教育委員会教育総務部 吾妻公民館	グループ	吾妻公民館		
開始年度		昭和 30 年度	→	終了年度	平成 年度	

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習推進計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則
関連・類似事業	コミュニティ施設提供事業(コミュニティ推進課)			
総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び 人・文化をはぐくむまち	施策	4節 社会教育
	中柱	2 社会教育機関の充実	小柱	(3) 公民館の整備・充実
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位				
・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○				
行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
コード	1221	地域コミュニティの拠点整備	コード	3121
		受益者負担の見直し	コード	3621
		事務改善活動等の充実・強化		
事業開始の背景	昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においてはその設置目的達成のため、各種の事業を行うとともに、その施設を住民の集会その他の公的利用に供することとされている。			

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	集団により各種学習活動の場として施設を提供することによって、住民の知識・教養の向上を図り、生涯学習社会の構築を目指す。
	対象(誰を、何を対象としているのか)	利用数の考え方 市民 公民館の部屋を利用した延べ人数
	対象数	単位
	平成 18 年度	337,883 人
	平成 19 年度	339,058 人
	利用数	単位
	平成 18 年度	107,649 人
	平成 19 年度	87,201 人
	事業の具体的な内容及び実施方法	
	施設の利用申請にあたっては、従来からの窓口申請以外にも、平成11年度からは、公共施設案内・予約システムを導入し、ロビー端末機・インターネットによる利用予約手続きが可能となっており、また、平成18年10月から新システム導入している。利用予約の際は、利用機会の拡大を図るため一定の利用制限(時間制限)を設けている。	

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 <input type="checkbox"/>
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点	
	施設管理に関し、定期的に施設・設備の点検をすると共に、積極的な修繕・補修をすすめ、良好な施設提供に努めた。	

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		30,030	32,114	30,738	
	決 算 (見込み含む)		33,632	31,759		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(0.80 人) (0.60 人)	(0.75 人) (0.60 人)			
	正規職員人件費	0.95 人	8,740	0.70 人	6,576	
	公債費		24,649			
	事業費合計		67,021	38,335		
	財源内訳	一般財源		63,349	34,611	30,738
		国・県支出金				
		受益者負担金		3,672	3,724	
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		198.4	113.1			
利用数一単位あたり(単位:円)		622.6	439.6			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	年間利用可能区分数(公民館)	1日6区分×部屋×開館日数(月曜日は4区分で計算)	回	36144	35216	35216	
		年間利用区分数(公民館)	年間延べ利用区分数	回	17467	19482	21130	
	成果分析	年間施設稼働率(公民館)	年間延べ利用区分数÷年間利用可能区分数×100	目標値	80	80	80	80
実績				48.3	55.3			
% 達成率				60.4	69.1			

実績値の拡大を図る1
実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	良好な施設提供を行なうべく点検等を行っているが、施設の老朽化により修繕の必要箇所が増加している。				
⑧二次評価	評価項目	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	総合評価	平成20年度における目標設定	良好な施設提供のため修繕と維持管理に努める。	施設の雨漏りの全面的な解消。	平成21年3月
		平成21年度における事業の方向性	達成水準(どこまで)		
	評価理由	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 []) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	地域の拠点及び生涯学習の拠点として、幅広いニーズに対応した施設整備を行なう必要があるため。				
評価日	平成20年5月15日 記入者職氏名 竹内 直美				

⑨個別計画における方向性	一次評価	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由							
⑩環境基本計画	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
⑩次世代育成支援行動計画	基本目標	子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
	主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり		
	施策の方向	6地域での交流機会の拡大		
	計画コード	1262		